土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　重要港湾 尾道糸崎港 港湾環境整備事業に伴う業務委託（松浜地区）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　港湾 地盤沈下

ボーリング名	Bor.No.2	**調査位置**	広島県三原市糸崎八丁目地先			**北緯**	34° 23′ 8.2968″
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所			**調査期間**	令和5年 5月 16日 ～ 令和5年 5月 21日	**東経**	133° 06′ 48.8224″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. −5.20m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 10°	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工機　D-1B48型
総削孔長	18.00m								**エンジン**	ヤンマーディーゼル　NFD12型	**ポンプ**	東邦地下工機　BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	−5.80	0.60		砂質礫	GS	暗灰			完新世	カキ殻混じりの緩い礫質土。礫は直径3cm以下の亜角礫であり，鉱滓と瓦片が混入する。	
	−7.10	1.90		砂混じり礫質シルト	GCsS	暗灰		rc1		角礫を多く含む砂混じりの粘性土。含水比が非常に高く，試料は自立しない。貝殻片と木片がわずかに混入する。	
2	−7.70	2.50		砂混じりシルト質礫	GCsS	暗灰		rd1		礫と細粒分がほぼ等量の礫質土。砂分は少なく不自然な粒度組成を持つ。礫は直径5cm以下の亜角礫である。含水比は非常に高い。	
3				礫混じり粘土質砂	GCs-S	灰褐～褐灰		rd3		風化した崖錐性堆積物の層相を示す，半固結状の礫質粘土質砂であり，粘土質砂礫を伴う。	
4					CsSG					礫は直径1cm以下の泥岩礫からなり，風化したものが見られる。礫の形状は角礫，亜角礫が主体であり，一部円礫が混じる。	
5	−10.50	5.30								基質は含水比が低く半固結状の粘土混じり砂ないし粘土質砂であり，最下部は砂質粘土からなる。	
6				粘土質砂礫	GCsS	灰褐		rd4		直径6cm以下の硬質な泥岩礫からなる締った砂礫。礫の形状は亜角礫と亜円礫である。基質は粘土質砂からなる。	
7	−13.00	7.80									
8				礫混じり砂質粘土	CLS-G	褐灰		rc2	更新世	含水比が高く軟らかい褐色の粘性土。上部は直径3cm程度の角礫を多く含み，赤褐色の砂礫の薄層を挟む。	
9	−15.10	9.90									
10				礫混じり粘土質砂	CsS-G	灰褐～淡褐		rd3		風化した崖錐性堆積物の層相を示す，半固結状の礫質粘土質砂。礫は直径1cm程度の泥岩の角礫からなり，風化により軟質化したものが多い。礫分は下部ほど多く，最下部の深度14m付近は礫径3cm以下の粘土質砂礫である。基質は褐色の粘土質砂ないし砂質粘土である。	
11											
12											
13					SCsG						
14	−19.80	14.60									
15				風化花崗岩	Rm	淡褐灰～橙			後期白亜紀	岩石組織の明瞭な粗粒花崗岩。風化により全体的に軟質化しており，試料は指で崩せる程度の硬さである。ほぐした試料は細礫混じり砂状となる。部分的に軟質な片状コアが採取される。深度15.1～15.8m間は暗褐灰色の風化したひん岩が分布する。（DH級岩盤，軟岩I）	
16											
17											
18	−23.20	18.00									
19											

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	1.00						
0	1.60	ハンマー自沈			0/600		600
	2.15	2	1	1	4/300		
4	2.45						
	3.15	7	4	3	14/300		
14	3.45						
	4.15	4	4	3	11/300		
11	4.45						
	5.15	4	8	13	25/300		
25	5.45						
	6.15	8	42/40		50/140	140	
107	6.29						
	7.15	12	21	11	44/300		
44	7.45						
	8.15	3	1	2	6/300		
6	8.45						
	9.15	1/150	1/150		2/300		
2	9.45						
	10.15	3	3	3	9/300		
9	10.45						
	11.15	5	5	6	16/300		
16	11.45						
	12.15	5	8	10	23/300		
23	12.45						
	13.15	8	11	20	39/300		
39	13.45						
	14.15	5	5	7	17/300		
17	14.45						
	15.15	17	14	19/80	50/280	280	
54	15.43						
	16.15	27	23/50		50/150	150	
100	16.30						
	17.15	26	24/60		50/160	160	
94	17.31						
	18.05	31	19/40		50/140	140	
107	18.19						

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
1.00		
1.60	P2-1	⊖
2.00		
2.45	P2-2	⊖
3.00		
3.45	P2-3	⊖
4.00		
4.45	P2-4	⊖
5.00		
5.45	P2-5	⊖
6.00		
6.29	P2-6	⊖
7.00		
7.45	P2-7	⊖
8.00		
8.45	P2-8	⊖
9.00		
9.45	P2-9	⊖
10.00		
10.45	P2-10	⊖
11.00		
11.45	P2-11	⊖
12.00		
12.45	P2-12	⊖
13.00		
13.45	P2-13	⊖
14.00		
14.45	P2-14	⊖
15.00		
15.43	P2-15	⊖
16.00		
16.30	P2-16	⊖
17.00		
17.31	P2-17	⊖
18.00		
18.19	P2-18	⊖

室内試験

- 土粒子密度・含水比・粒度（沈降）・液性塑性
- 土粒子密度・含水比・粒度（沈降）・液性塑性
- 土粒子密度・含水比・粒度
- 土粒子密度・含水比・粒度
- 土粒子密度・含水比・粒度
- 土粒子密度・含水比・粒度
- 土粒子密度・含水比・粒度（沈降）・液性塑性
- 土粒子密度・含水比・粒度
- 土粒子密度・含水比・粒度

原位置試験

削孔月日

5/17
5/18
5/19